



2024年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年12月28日

上場会社名 日本プロセス株式会社 上場取引所 東
コード番号 9651 URL <https://www.jpdc.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 俊郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務統括 (氏名) 坂巻 詳浩 TEL 03-4531-2111
四半期報告書提出予定日 2024年1月11日 配当支払開始予定日 2024年2月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第2四半期の連結業績（2023年6月1日～2023年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第2四半期	4,541	5.6	462	3.3	476	1.9	340	10.2
2023年5月期第2四半期	4,302	17.1	447	29.8	467	25.1	308	37.3

(注) 包括利益 2024年5月期第2四半期 326百万円 (9.3%) 2023年5月期第2四半期 298百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年5月期第2四半期	円 銭 35.25	円 銭 —
2023年5月期第2四半期	円 銭 32.02	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年5月期第2四半期	百万円 11,813	百万円 10,244	% 86.7
2023年5月期	百万円 12,311	百万円 10,077	% 81.9

(参考) 自己資本 2024年5月期第2四半期 10,244百万円 2023年5月期 10,077百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年5月期	円 銭 —	円 銭 17.00	円 銭 —	円 銭 18.00	円 銭 35.00
2024年5月期	円 銭 —	円 銭 18.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2024年5月期（予想）	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 18.00	円 銭 36.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,090	1.9	915	0.8	970	0.3	690	1.1	71.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期2Q	10,645,020株	2023年5月期	10,645,020株
② 期末自己株式数	2024年5月期2Q	972,042株	2023年5月期	985,439株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年5月期2Q	9,663,151株	2023年5月期2Q	9,648,463株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス禍からの社会経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境が改善するなど緩やかな景気回復の動きが継続しました。しかしながら、資源・原材料価格の高騰、世界的な金融引締めや中国経済の先行き懸念などによる海外景気の下振れが、わが国の景気を下押しするリスクとなっております。

情報サービス産業におきましては、業務効率化・生産性向上を目的としたデジタルトランスフォーメーション(DX)など、情報通信技術(ICT)活用の意欲は依然として高く、IT投資は堅調に推移するものと見込まれます。

こうした環境の中、当社は、「ソフトウェアで社会インフラ分野の安全・安心、快適・便利に貢献する」を中期経営ビジョンとする中期経営計画(2021年6月～2024年5月)を策定し、人材育成のための大規模案件請負の推進、トータル・ソフトウェア・エンジニアリング・サービスのトータル度向上を基本方針としております。

人材育成のための大規模案件請負の推進としては、大規模案件を計画的に請負受注し、開発を通じて新規設計能力やマネジメント力の向上などの人材育成を継続して進めており、大規模案件に参画した社員及び組織の成長が見られます。

トータル・ソフトウェア・エンジニアリング・サービスのトータル度向上としては、これまでも顧客のご協力を得ながら長期的に継続している「ソフトウェアの要件定義、開発から運用・保守までをトータルにサービスすることで、顧客に最大のメリットを提供する」という取組みを、各セグメントの事業環境に応じて戦略的に目標を定めて実施し、さらなるトータル度向上により顧客への付加価値を向上させ、持続的な採算性の改善、競争力強化を図っております。

また持続的成長への施策として、賃上げを実施して社員への還元と採用競争力の維持・強化を図り、優秀な人材の安定確保に取組むとともに、戦略に沿った技術教育や継続的なマネジメント教育を通じて社員の技術力の強化に努めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,541百万円(前年同期比5.6%増)、営業利益は462百万円(前年同期比3.3%増)、経常利益は476百万円(前年同期比1.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は340百万円(前年同期比10.2%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より「産業・ICTソリューション」に含まれていた航空宇宙関連を「特定情報システム」へ移管しております。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較分析しております。

(制御システム)

制御システムでは、再生可能エネルギーを含めた電力系統制御システムは一部案件が開発延期となったことにより横ばいで推移し、プラント監視制御システムは開発量が減少しました。東京圏輸送管理システムは前期より開始した更新案件により好調に推移しました。在来線の運行管理システムは新たな更新案件の受注により順調に推移し、新幹線の運行管理システムは開発規模縮小に伴い売上が減少しました。

この結果、売上高は712百万円(前年同期比10.4%増)、セグメント利益は162百万円(前年同期比12.5%増)となりました。

(自動車システム)

自動車システムでは、自動運転/先進運転支援関連は新たな案件を受注するなど好調に推移しました。車載情報関連は売上が横ばいで推移し、電動化関連は海外向けの開発規模縮小に伴い売上利益ともに減少しました。

この結果、売上高は1,122百万円(前年同期比7.3%増)、セグメント利益は301百万円(前年同期比0.2%減)となりました。

(特定情報システム)

特定情報システムでは、航空宇宙関連は一部案件がテストフェーズに入り体制を縮小したことで売上が減少しました。危機管理関連は大規模案件が収束したことで体制を縮小しました。衛星画像関連は受注量の増加により好調に推移しました。

この結果、売上高は603百万円(前年同期比4.9%減)、セグメント利益は102百万円(前年同期比5.5%減)となりました。

(組込システム)

組込システムでは、ストレージデバイス開発は体制を縮小したものの、新ストレージ開発は新たな開発案件を受注するなど好調に推移しました。IoT建設機械関連は開発量が増加し体制を拡大したことで堅調に推移しました。

この結果、売上高は694百万円(前年同期比4.3%増)、セグメント利益は164百万円(前年同期比8.9%増)となりました。

(産業・ICTソリューション)

産業・ICTソリューションでは、社会インフラ関連の官公庁向け開発は前期より開始した開発案件が好調に推移し、道路設備関連は体制を拡大し堅調に推移しました。駅務機器開発は新たな案件を受注するなど順調に推移しました。システム構築関連はおおむね横ばいで推移しました。

この結果、売上高は1,409百万円（前年同期比7.5%増）、セグメント利益は238百万円（前年同期比9.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、498百万円減少して、11,813百万円となりました。この主な要因は、売上債権や有価証券が減少したことによります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて664百万円減少して、1,568百万円となりました。この主な要因は、賞与支給に伴い賞与引当金が減少したことによります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて166百万円増加して、10,244百万円となりました。この主な要因は、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が増加したことによります。この結果、自己資本比率は、86.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて17百万円減少して、4,139百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は、9百万円（前年同期は244百万円の使用）となりました。主な要因は、賞与支給及び法人税等の支払いによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により獲得した資金は、153百万円（前年同期は87百万円の獲得）となりました。主な要因は、有価証券の償還によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、173百万円（前年同期は182百万円の使用）となりました。要因は、配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2023年7月7日公表の2024年5月期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,157,233	4,139,307
受取手形、売掛金及び契約資産	2,589,144	2,464,348
電子記録債権	1,306,703	1,028,035
有価証券	750,333	500,729
仕掛品	97,023	153,952
その他	100,737	140,414
流動資産合計	9,001,176	8,426,788
固定資産		
有形固定資産	161,528	172,555
無形固定資産	40,516	32,902
投資その他の資産		
投資有価証券	2,536,510	2,546,101
その他	571,923	634,968
投資その他の資産合計	3,108,433	3,181,069
固定資産合計	3,310,479	3,386,527
資産合計	12,311,655	11,813,315
負債の部		
流動負債		
買掛金	158,104	147,226
未払法人税等	166,833	169,323
賞与引当金	1,334,760	817,708
その他の引当金	39,392	20,219
その他	477,258	367,455
流動負債合計	2,176,348	1,521,933
固定負債		
長期末払金	57,477	46,894
その他	166	166
固定負債合計	57,643	47,060
負債合計	2,233,992	1,568,994
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,487,409	1,487,409
資本剰余金	2,270,166	2,274,634
利益剰余金	6,420,435	6,587,184
自己株式	△618,599	△609,070
株主資本合計	9,559,412	9,740,157
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	476,008	449,750
為替換算調整勘定	42,241	54,413
その他の包括利益累計額合計	518,250	504,163
純資産合計	10,077,663	10,244,321
負債純資産合計	12,311,655	11,813,315

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
売上高	4,302,265	4,541,481
売上原価	3,375,900	3,572,653
売上総利益	926,365	968,828
販売費及び一般管理費	478,874	506,415
営業利益	447,491	462,413
営業外収益		
受取利息	6,230	5,361
受取配当金	10,226	11,963
受取保険金	10,000	—
保険解約返戻金	1,740	2,457
その他	2,172	2,804
営業外収益合計	30,369	22,587
営業外費用		
障害者雇用納付金	1,200	500
為替差損	3,764	6,832
租税公課	3,736	—
その他	1,523	1,357
営業外費用合計	10,224	8,690
経常利益	467,635	476,309
特別利益		
固定資産売却益	—	1,052
特別利益合計	—	1,052
特別損失		
固定資産除却損	0	1,396
投資有価証券評価損	762	—
減損損失	40,836	—
特別損失合計	41,599	1,396
税金等調整前四半期純利益	426,036	475,965
法人税等	117,048	135,344
四半期純利益	308,987	340,620
親会社株主に帰属する四半期純利益	308,987	340,620

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	308,987	340,620
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,838	△26,258
為替換算調整勘定	13,643	12,171
その他の包括利益合計	△10,194	△14,086
四半期包括利益	298,792	326,534
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	298,792	326,534

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	426,036	475,965
減価償却費及びその他の償却費	25,059	31,800
減損損失	40,836	—
有形及び無形固定資産除売却損益 (△は益)	0	344
投資有価証券評価損益 (△は益)	762	—
受取利息及び受取配当金	△16,456	△17,325
引当金の増減額 (△は減少)	△426,449	△538,493
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,832	406,738
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△95,563	△56,929
仕入債務の増減額 (△は減少)	41,632	△11,194
長期未払金の増減額 (△は減少)	△8,772	△10,583
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△7,398	△59,690
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△6,798	△13,555
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△63,625	△96,166
その他	△13,412	△14,919
小計	△105,982	95,989
利息及び配当金の受取額	18,186	18,331
その他の収入	15,674	8,454
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△172,803	△131,855
営業活動によるキャッシュ・フロー	△244,924	△9,080
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却及び償還による収入	500,000	650,000
有形固定資産の取得による支出	△2,931	△45,928
有形固定資産の売却による収入	—	1,052
無形固定資産の取得による支出	△8,408	△1,866
投資有価証券の取得による支出	△401,329	△448,787
その他	—	△846
投資活動によるキャッシュ・フロー	87,331	153,623
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△182,194	△173,080
財務活動によるキャッシュ・フロー	△182,194	△173,080
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,308	10,611
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△330,478	△17,926
現金及び現金同等物の期首残高	3,755,256	4,157,233
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,424,777	4,139,307

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 前第2四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	制御システム	自動車システム	特定情報システム	組込システム	産業・ICTソリューション	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	645,072	1,045,643	634,651	665,683	1,311,215	4,302,265
外部顧客への売上高	645,072	1,045,643	634,651	665,683	1,311,215	4,302,265
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	645,072	1,045,643	634,651	665,683	1,311,215	4,302,265
セグメント利益	144,648	301,933	108,948	150,728	218,063	924,321

	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高		
顧客との契約から生じる収益	—	4,302,265
外部顧客への売上高	—	4,302,265
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	4,302,265
セグメント利益	△476,830	447,491

(注) 1. セグメント利益の調整額△476,830千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△478,874千円及びその他2,044千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに含まれない全社資産において、40,836千円の減損損失を計上しております。

II. 当第2四半期連結累計期間（自 2023年6月1日 至 2023年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	制御システム	自動車システム	特定情報システム	組込システム	産業・ICTソリューション	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	712,077	1,122,333	603,423	694,298	1,409,348	4,541,481
外部顧客への売上高	712,077	1,122,333	603,423	694,298	1,409,348	4,541,481
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	712,077	1,122,333	603,423	694,298	1,409,348	4,541,481
セグメント利益	162,667	301,180	102,934	164,183	238,110	969,075

	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高		
顧客との契約から生じる収益	—	4,541,481
外部顧客への売上高	—	4,541,481
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	4,541,481
セグメント利益	△506,662	462,413

(注) 1. セグメント利益の調整額△506,662千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△506,415千円及びその他△247千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より「産業・ICTソリューション」に含まれていた航空宇宙関連を、「特定情報システム」へ移管しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。